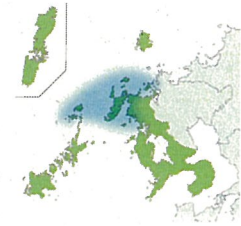


## (5) 県北地域



### ① 海況の特徴

県北地域は本県の北西端に位置し、五島列島の最北部に浮かぶ宇久島、小値賀島をはじめ、北は平戸市北部に位置する的大山島、東は伊万里湾口の鷹島・福島に至るまで数多くの島嶼とリアス式海岸からなる複雑な海岸地形を形成しています。対馬暖流の影響を受けるこれら沿岸域では、河川から流入する沿岸流との潮目ができることから好漁場が形成され、イワシ類、アジ類、サバ類、ブリ類、イカ等の回遊がみられるほか、マダイ、アマダイ、ヒラメ、イサキや磯根資源のアワビ、ウニ類等数多くの魚介類に恵まれています。

また、複雑な海岸地形の湾や入り江を利用した魚類や真珠などの養殖業も営まれ、内湾から沖合まで漁場環境を活かした多種多様な漁業が営まれています。

### ② 漁業の現状

沿岸域においては、イワシ類、アジ類、サバ類等の多獲性魚を対象とするまき網やマダイ、ブリ、イサキ等を対象とする釣り、ごち網、刺網、小型底びき網等の網漁業や全国的に有数のトラフグ養殖などの魚類養殖業等が営まれています。

また、沖合の東シナ海・黄海、西日本周辺を漁場とする大中型まき網漁業も盛んで、松浦市や佐世保市の魚市場に水揚げされています。

項目	単位	H10	H15	H20
総生産量	トン	137,074	117,988	140,437
海面漁業	トン	127,830	108,993	130,713
うち中・小型まき網漁業	トン	43,628	49,513	71,912
うち船びき網漁業	トン	4,454	3,537	3,177
うち小型定置網漁業	トン	2,475	2,490	3,747
海面養殖業	トン	9,244	8,995	9,724
漁業就業者数	人	5,881	5,027	4,698

(資料：農林水産統計年報、漁業センサス(農林水産省))

### (主な漁業種類)

伊万里湾：小型底びき網、ごち網、かご、

中・小型まき網、魚類養殖等

北松西部周辺：一本釣り、刺網、定置網、採介藻等

九十九島周辺：ごち網、中・小型まき網、魚類養殖、

真珠養殖等

離島地区においては、近年ヒトエグサ、ヒオウギガイ、イワガキ、ワカメ、アサリ等が新たな養殖種として調査・試験が行われています。

小値賀地区発動連合会においては、イサキの疑似餌を利用した一本釣りの徹底や小型魚の保護による資源管理とブランド化への取組が積極的に行われております。

### ③ 地域の抱える主な課題

漁業就業者の減少・高齢化や魚価の低迷など厳しい状況にあり、安定した漁業経営の実現のため、環境保全や漁場造成、漁業秩序の維持等による水産資源の維持・確保や、地域独自のブランド育成等による先進的な水産業の中核地域づくりをめざすことが必要です。



養殖トラフグの出荷



ブランド魚「値賀味(ちかまか)」

④ 課題解決に向けた取組内容 ※第4章における基本目標に対応して色分けしています。

- 恵まれた漁場環境の保全 → 〈ア〉 資源増殖と沿岸環境の保全をめざす漁場づくり
- 漁業経営の不振等による担い手の減少と高齢化 → 〈イ〉 漁業の将来を担う人材の育成
- 多様な漁業形態の秩序維持 → 〈ウ〉 漁業管理体制の見直しと取締の強化
- 魚類養殖経営の低迷 → 〈エ〉 収益性の高い養殖業の育成
- 生産者価格の低迷と高付加価値販売の停滞 → 〈オ〉 付加価値の高いブランド製品の育成強化



〈ア〉資源増殖と沿岸環境の保全をめざす漁場づくり

水産資源の維持・回復を図り、効率的な漁獲が可能となるよう沿岸域に増殖場を整備し、漁場造成を推進します。

特に、資源の減少が著しい沿岸性種の増殖をめざして、ウニフェンスや魚ドームの設置といった漁業者自らが行う藻場再生など漁場保全の取組を指導・支援します。

指標名	単位	H20(基準年)	H27(目標年)
海面漁業生産量	トン	130,713	131,000

〈イ〉漁業の将来を担う人材の育成

漁村の担い手育成のため、将来の地域水産業を担う漁協青壮年部組織の強化、新規就業者の受入体制の充実、漁家子弟の就業支援等について、市町や系統団体等と連携した取組を強化します。

指標名	単位	H17-21累計(基準年)	H23-27累計(目標年)
新規就業者数	人	164	175

〈ウ〉漁業管理体制の見直しと取締の強化

水産資源を管理しながら、持続的に利用するため、資源回復に向けた取組と併せて、漁業調整を図りつつ、固定式刺網、かご、ごち網などの漁業許可制度の見直しに取り組むことで、生産水準を確保し、操業秩序が遵守されるように努めます。

指標名	単位	H22(基準年)	H27(目標年)
許可制度見直し件数	件	-	3

〈エ〉収益性の高い養殖業の育成

養殖業の経営改善を図るため、松浦市、平戸市の周辺海域で伸長しているクロマグロ等、単価の高い魚種への転換と、生産量の増大により、収益性が高く、安定した養殖業の実現に取り組みます。

指標名	単位	H21(基準年)	H25(目標年)
マグロ養殖の生産量	トン	183	644

〈オ〉付加価値の高いブランド製品の育成強化

水産物の付加価値向上と、販路拡大を推進するために、マアジ、マサバ、ヒラメ、イサキ、養殖トラフグ・クロマグロ等の活鮮魚及び煮干しやアゴ(トビウオ)等の加工品等を対象に、県北地域の産地ブランドの育成、確立の取組を支援します。

指標名	単位	H21(基準年)	H27(目標年)
ブランド魚販売額の向上	億円	80	84